

大村知事あてにオスプレイ配備に反対の意思を示すよう申し入れを行う、参院選挙区・もとむら伸子さん（写真右）



危険 オスプレイ 配備中止を

政府は事故が絶えない、危険な米軍機オスプレイを沖縄の普天間基地に配備しようとしています。「オスプレイ配備反対」の運動が各地でおこっています。

日本共産党

エンジンが「安全に着地できない」

オスプレイの安全性をめぐる焦点は、同機のエンジンが故障した場合、安全に着陸できないという問題です。日本政府は、エンジンが停止しても、“固定翼モードに移行して滑空するか、ヘリモードに移行し、オートローテーション（自動回転）で緊急着陸するので安全”といいますが一。



VM 2 2 オスプレイ

米元主任分析官レックス・リボロ氏の証言

- ヘリモードで故障した場合、固定翼モードへの変更はマニュアルで「禁止されている」
- オートローテーション機能があるか「危険すぎるため実証する試みさえされていない」

米国防総省の公式報告文書

- 「同機は、確実に自動回転して安全に着地することはできない」



「機能あるなら根拠しめせ」

日本共産党の赤嶺衆院議員は7月9日、国会でオスプレイが事故を繰り返していることをあげ、「オートローテーション機能が実証されているのか」と追及。防衛相は「私が乗っていないので何とも言えない」と答弁。赤嶺氏は「乗ったら実証できる」という理由で配備をすすめるのは大問題。欠陥ヘリを飛ばすことなど許されないと主張しました。

質問する赤嶺政賢議員（衆院予算委）



裏面へ

オートローテーション機能が欠如

●真実がわかる 明日が見える―「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2012年
7月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

オスプレイ

全国で低空飛行訓練

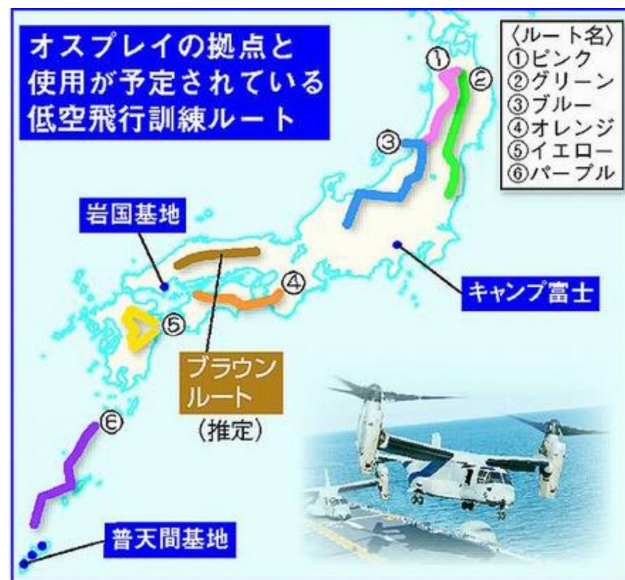
赤嶺衆院議員

野放しにしているのか

防衛相 安保の趣旨に従うもの

赤嶺氏は、米軍が右図のように日本全国でオスプレイの低空飛行訓練を行う計画をしていることを追及しました。

森本防衛相は、「訓練する可能性はありうる」と認め、「米軍が能力の発揮に必要な訓練を行うことは、日米安保体制の趣旨に従うもの」とアメリカいいなりでオスプレイによる低空飛行訓練を容認しました。



広がる オスプレイNO!

■オスプレイ配備に反対・慎重意見を表明した都府県(重複あり)

【県議会での決議】 山口、徳島、沖縄

【要請書を提出】 群馬、長野、兵庫、広島、山口、徳島、沖縄

【渉外知事会】 北海道、青森、茨城、東京、埼玉、千葉、神奈川、静岡、山梨、広島、山口、福岡、長崎、沖縄

【知事が答弁、会見で表明】

秋田、和歌山、島根、愛媛、高知、宮崎

政府は「日米安保」を盾に

- 「米国と何回も交渉したが、押し返せなかった。米国は日米安保条約上の権利だと主張した」(藤村修官房長官)
- 「日本政府に条約上のマンデート(権限)はない」(森本敏防衛相)
- 「配備することについて、『今しばらくストップしろ』とか、『ダメだ』と言う権限は日本にはなく、そういうなかでギリギリのことをやっている」と理解してほしい」(岡田副総理)



オスプレイ配備中止を米政府へ提起するよう藤村修官房長官(右)に申し入れる志位和夫委員長(中央)

志位委員長が政府に申し入れ 配備中止を米政府に提起せよ

日本共産党の志位和夫委員長は、政府に対しオスプレイ配備について、日米安保条約の有害性をうきぼりにするものであると述べるとともに、「条約上の権限はない」ですまされることではないとして、米政府に配備中止を正面から提起することを求めました。